

## ■ 恩納村博物館「自然ゾーン」展示がオープン!

恩納村博物館では常設展示リニューアル事業として、これまでの民俗ゾーン「恩納の暮らし」、歴史・考古ゾーン「恩納のみち」の常設展示に加え、自然史分野の展示を充実させた「自然ゾーン」の新設に向け、常設第2展示室を改修し、展示作業に取り組んできました。この度、展示が完成し、9月30日に長浜善巳村長をはじめ関係者の皆様にご列席いただき、オープニングセレモニーとテープカットを執り行いました。

「自然ゾーン」では〈恩納村の人とつながる「海・川・山」〉を基本テーマとし、「サンゴの村宣言」SDGsの基となった恩納村の海とサンゴ、その海の豊かさを支える山の自然、それらをつなぐ川の役割、そして恩納村の人々の暮らしとそれらの自然とのつながりを展示で表現することに努めました。

「自然ゾーン」は1. ゆたかな恩納の海、2. 海と山をつなぐ川、3. ゆたかな海を育む森、4. 自然と人のかかわりの4コーナーで構成しており、それぞれ実物から作られた乾燥標本や剥製のほか、レプリカなどの展示資料を活用し、恩納村の自然について、広く紹介しています。サンゴの骨格標本のほか、恩納村内で採集された化石や子どもたちに人気の昆虫標本もあります。

今後も「自然ゾーン」では新しい資料の紹介など、展示内容を更新しながら、「自然ゾーン」新設の基本理念である「①社会教育・学校教育に資する展示、②恩納村の海・川・山と人のつながりを知る展示、③OISTなど関係機関との連携」に努め、恩納村の風土に根差した地域博物館として、村の恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐとともに、次世代を担う人材育成や自然環境にやさしい地域づくりに貢献していきたいと考えています。この機会に、村民の皆様をはじめ、より多くの方々に恩納村について、改めて知っていただければと思います。皆様のご来館をお待ちしております。

### OIST研究

「自然ゾーン」において、OIST「OKEON 美ら森プロジェクト」による展示が始まりました。沖縄で見られるアリやチョウをはじめ、さまざまな昆虫の標本展示や、外来種問題への取り組みを紹介しています。ぜひご来館ください。



関係者によるテープカット



「自然ゾーン」入口の展示



リニューアルした第2展示室